

平成29年度

川越市河川生物調査

抜粋版

実施日 平成29年8月7日・9月5日

1. 調査目的

本調査は、河川生物を調べることにより、生物化学的酸素要求量(BOD)などの理化学的な調査だけでは把握しにくい、長期的な水辺環境の変化を総合的に把握することを目的とする。

2. 調査内容

2.1 調査地点

調査は、表 2-1 及び図 2-1 に示す 5 地点でおこなった。

表 2-1 調査地点一覧

地点番号	河川名	調査地点	場所
St. 1	南小畔川	大町橋付近	笠幡地内
St. 2	小畔川	田島橋付近	笠幡地内
St. 3		吉田橋付近	吉田地内
St. 4	入間川	初雁橋付近	的場地内
St. 5		菅間堰付近	菅間地内

2.2 調査項目

調査対象項目は底生生物、付着藻類及び魚類とし、St. 3(小畔川吉田橋付近)、St. 4(入間川初雁橋付近)及びSt. 5(入間川菅間堰付近)では全ての項目を調査した。St. 1(南小畔川大町橋付近)及びSt. 2(小畔川田島橋付近)では、底生生物の定性調査及び魚類の2項目を調査した。それぞれの地点における調査項目を表 2-2 に示す。

表 2-2 調査項目一覧

調査地点 項目		南小畔川	小畔川		入間川	
		大町橋付近	田島橋付近	吉田橋付近	初雁橋付近	菅間堰付近
		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	St. 5
底生生物	定量調査			○	○	○
	定性調査	○	○	○	○	○
付着藻類				○	○	○
魚 類		○	○	○	○	○

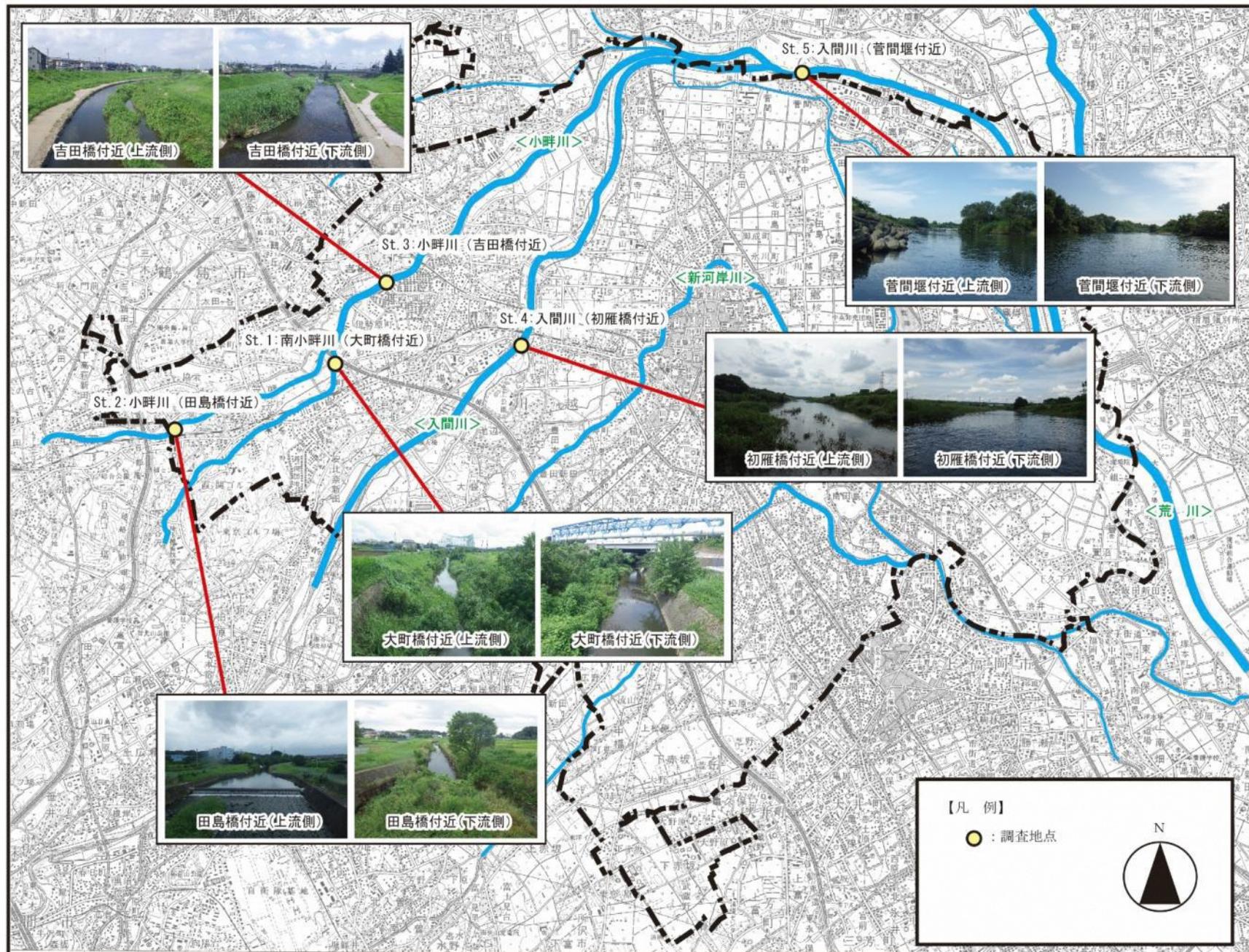


图 2-1 調査地点位置图

2.3 調査期日

調査は、表 2-3 に示す日程でおこなった。

表 2-3 調査期日

調査期日	調査地点
平成29年8月7日(月)	St. 1、St. 2、St. 3
平成29年9月5日(火)	St. 4、St. 5

2.4 調査方法

①底生生物

各調査地点において、定量採集調査をサーバーネット、定性採集調査をタモ網等により実施した。

a. 定量採集調査

定量採集調査は、サーバーネット（金属方形枠(25cm×25cm)に孔径 0.493mm のサラシ網を付けた器具）を用いて、河床に生息する生物を河床の砂礫ごと攪拌しながら採集し、バットにあけ砂礫等を取り除き保存用のポリ瓶に移した。採集した検体試料は、ホルマリンで固定保存し試験室に持ち帰り分析に供した。なお、採集は 25cm×25cm 方形枠を 4 回(0.25m²)とした。

持ち帰った試料は、ふるいを用いて砂泥の微粒子を洗い流した後、実体顕微鏡(6.3～40 倍)及び生物顕微鏡(100～400 倍)により、各生物種の同定、種別個体数の計数をおこなった。

b. 定性採集調査

定量試料採集地点の上下流 50m 程度の範囲について、瀬・深み・淵を問わずにタモ網等を使用して、中大型種や注目に値する種の採捕を目的として任意に採集した。同時に採捕された魚類は魚類調査結果に統合した。

②付着藻類調査

付着藻類は、瀬又は瀬に類似する場所の河床から、握り拳～人頭大の礫を採集し、ゴム製のコドラート(5cm×5cm)(図 2-2 参照)をあて、バットの中で礫に付着している藻類をブラシで保存用のポリ瓶にこすり落とした。この操作を 3 回繰り返したもの{(5cm×5cm)×3 回=75cm²}を試料とした。採集した試料は、ホルマリンで固定保存し、試験室に持ち帰り分析をおこなった。持ち帰った試料は、一定量を大型のスライドガラス上に採取し、種の同定と細胞数の計数をおこなった。種の同定には、生物顕微鏡を用いた。

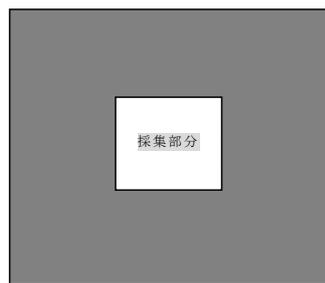


図 2-2 ゴム製コドラートの模式図

③魚類調査

魚類調査は目視のほか、投網、タモ網、網カゴなどを用いて魚類を採捕し、現地で種の同定及び採捕数、体長の記録をした後に放流した。

2.5 底生生物及び付着藻類による水質判定

各地点で採集された生物種の集計結果を元に、生物学的水質判定をおこなった(判定方法の詳細は、資料編参照)。本調査では、従来から使用されている優占種法、Beck-Tsuda 法、Kolkwits 法及び汚濁指数法による水質判定結果から総合判定をおこなうと共に、「川の生きものを調べよう」並びに平均スコア法による水質判定もおこなった。底生生物及び付着藻類の定量調査を実施した地点については全ての水質判定をおこない、底生生物の定性調査のみを実施した地点については平均スコア法による水質判定をおこなった。

生物学的水質判定に用いられる水質階級を表 2-4 に示す。なお、本文中は水質階級を記号で表す。

表 2-4 生物学的水質階級

水質階級	汚濁の度合い
貧腐水性 (0s)	清冽
β 中腐水性 (βm)	やや汚い
α 中腐水性 (αm)	かなり汚い
強腐水性 (Ps)	極めて汚い

2.6 注目種の選定基準

現地調査により確認された底生生物、付着藻類及び魚類から、絶滅が危惧される種及び特定外来生物を注目種として抽出した。抽出は表 2-5～表 2-7 に示す選定基準によりおこなった。

表 2-5 底生生物の注目種選定基準

略称	選定基準
環境省 RL	「環境省レッドリスト 2017」(環境省、平成 24 年 3 月)における掲載種(昆虫類、貝類、その他無脊椎動物)
埼玉県 RL	「埼玉県レッドデータブック 2008 動物編」(埼玉県、平成 20 年)における掲載種(地帯区分：荒川以西)
特定外来	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成 16 年 6 月、法律第 78 号)による特定外来生物

表 2-6 付着藻類の注目種選定基準

略称	選定基準
環境省 RL	「環境省レッドリスト 2017」(環境省、平成 24 年 3 月)における掲載種(藻類)
埼玉県 RL	「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」(埼玉県、平成 24 年)における掲載種
特定外来	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成 16 年 6 月、法律第 78 号)による特定外来生物

表 2-7 魚類の注目種選定基準

略称	選定基準
環境省 RL	「環境省レッドリスト 2017」(環境省、平成 24 年 3 月)における掲載種(汽水・淡水魚類)
埼玉県 RL	「埼玉県レッドデータブック 2008 動物編」(埼玉県、平成 20 年)における掲載種(地帯区分：荒川以西)
特定外来	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成 16 年 6 月、法律第 78 号)による特定外来生物

3. 調査結果・考察

3.1 調査地点の概要

各調査地点及びその周辺の概要を以下に示す。

St.1 南小畔川(大町橋付近)

水面幅は6m程度、水深は0.7m程度で、水量は少なく、緩やかな流れである。橋付近は両岸コンクリート護岸であるが、その上流部、下流部で土羽になっている。水際は、関越自動車道より上流の左岸にトチなどの木本類、イネ科やユリ科等の草本類が生育しており、下流にはヨシやササが繁茂している。関越自動車道より下流に80cm程度の落差工があり、その下流側から水面幅が狭まり早瀬となっている。河床材料は、シルトや砂、礫である。



上流側



下流側

大町橋付近

St.2 小畔川(田島橋付近)

水面幅は10m程度、水深は0.4m程度で、水量はやや少ない。落差工の上流側は緩やかな流れであり、下流側は流路が狭くなるため流れが速い。橋の上流側は、主にコンクリート護岸で部分的にフトン籠や石積みによる護岸が施されており、橋の下流側は鋼矢坂護岸である。橋直下には、土砂が堆積して小規模な中州が形成されており、ヨシなどの草本類が生育している。下流側は、水面幅が3m程度まで狭まり、小規模の早瀬と平瀬が連続している。河床材料は、落差工の上流側が砂泥～礫であり、下流側が5～20cm程度のやや大きめの礫や岩である。周辺は、主に農耕地(水田)が広がっている。



上流側



下流側

田島橋付近

St.3 小畔川(吉田橋付近)

水面幅は10~15m程度、水深は0.5m程度で、水量は多く、流れは速い。堤外地に高水敷があり、遊歩道が整備されている。低水護岸はコンクリートであるが、左岸側の水際は土質、砂礫であり、イネ科植物等が生育している。流路の大小により、早瀬と平瀬が連続している。下流側では、東武東上線鉄橋の橋脚で小規模な淵が形成されており、その下流側は早瀬となっている。橋脚より下流の中州にはヨシ群落が形成されている。河床材料は砂や10cm程度の礫である。周辺は住宅地、農耕地が広がっている。



上流側



下流側

吉田橋付近

St.4 入間川(初雁橋付近)

水面幅は20~30m程度、水深は0.5m程度で水量は多い。東武東上線鉄橋の橋脚から30mほど上流に落工差があり、その上流は水深0.3~0.4m程度で、河床材料が砂泥の単調で緩やかな流れとなっている。落工差の下流付近は早瀬、橋脚部分は洗掘されて淵となっている。橋脚の下流側は大規模な平瀬と早瀬が連続しており、流れはやや複雑である。護岸は、上流右岸側にコンクリート護岸が施されているが、大部分は土羽護岸である。水際は、落差工上流右岸側がコンクリート護岸、橋脚付近の右岸側で護床工(テトラ型ブロック)が施されている。左岸側や橋脚下流右岸側では土質や砂礫が堆積し、草本類による植生帯が形成されている。河床材料は、粗い礫~砂が大部分を占めている。周辺は大規模な高水敷があり、左岸側の高水敷はランドとして利用されている。



上流側



下流側

初雁橋付近

St. 5 入間川(菅間堰付近)

水面幅は20~40m程度、水深は0.5~0.8m程度で、越辺川との合流後であるため、水量は多く、流れが速い。流路は堰からしばらくは水勢によって断続的に洗掘され、淵と早瀬・平瀬が連続しており、複雑な流れとなっている。堰の下流300m程度の右岸側に小規模な低水敷が形成されている。堰直下から右岸沿いに護床工(テトラ型ブロック)が整備され、左岸は土質となっている。左岸の水際には草本と低木による植生帯が形成されている。河床材料は粗い礫~砂が大部分を占めている。周辺は、高水敷が大規模に発達している。



上流側



下流側

菅間堰付近

3.2 出現種一覧

3.2.1 底生生物

各調査地点での底生生物調査結果の概要を表 3-1 に、出現種一覧を表 3-2 に、代表的な確認種の分布状況を図 3-1 に示す。

表 3-1 底生生物調査結果の概要

項目	地点名	St. 1 南小畔川 大町橋 付近	St. 2 小畔川 田島橋 付近	St. 3 小畔川 吉田橋 付近		St. 4 入間川 初雁橋 付近		St. 5 入間川 菅間堰 付近	
		定性	定性	定量	定性	定量	定性	定量	定性
種数		12	7	33	5	38	13	26	8
				37		46		33	
個体数 (個体/0.25m ²)		-	3	343	-	324	-	188	-
注目種		スジエビ	スジエビ	スジエビ		スジエビ アオサナエ ホンサナエ		スジエビ モクスガニ キハリマメゲンゴロウ	

表 3-2 底生生物調査結果一覧

調査期日：平成29年8月7日,9月5日

No.	網名	目名	科名	種名		耐 忍 性	汚 濁 指 数	水 質 階 級	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	St. 5						
				和名	学名				大町橋	田島橋	吉田橋	初雁橋	菅間堰						
									定性	定性	定量	定性	定量	定性	定量	定性			
1	有棒状体	三岐腸	サンカクアタマズムシ	アメリカツノウズムシ	<i>Girardia dorotocephala</i>	-	-	-	○		68			2					
2	腹足	汎有肺	モノアラガイ	モノアラガイ科の一種	<i>Lymnaeidae</i> gen. sp.	-	-	-									○		
3			ヒラマキガイ	ヒロマキミズマイマイ	<i>Menetus dilatatus</i>		-	-	-			1							
4	二枚貝	マルスダレガイ	シジミ	シジミ属の一種	<i>Corbicula</i> sp.	B	2	βm	○	○		○	1	○					
5	ミミズ	イトミミズ	ミズミミズ	ユリミミズ属の一種	<i>Limnodrilus</i> sp.	B	4	Ps					2	○					
6				テングミズミミズ属の一種	<i>Stylaria</i> sp.	B	2	βm									1		
7				ミズミミズ亜科の一種	<i>Naidinae</i> gen. sp.	-	-	-							8			4	
8	ヒル	物無蛭	イシビル	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>	B	3	αm		○	15								
9				イシビル科の一種	<i>Erpobdellidae</i> gen. sp.	-	-	-				5			1				
10	軟甲	ヨコエビ	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ	<i>Crangonyx frigidanus</i>	-	-	-					2						
11			ワラジムシ	ミズムシ	ミズムシ	<i>Asellus hilgendorffi</i>	B	3	αm			5		2			1		
12			エビ	ヌマエビ	カワリヌマエビ属の一種	<i>Neocaridina</i> sp.	-	-	-	○	○	12			○	○			○
13				テナガエビ	テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>	B	2	βm										○
14				スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	B	2	βm	○	○				○		○			○
15				アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	B	4	Ps	○				○		○			
16	モクスガニ	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	B	3	αm											○		
17	昆虫	カゲロウ	トビイロカゲロウ	ヒメトビイロカゲロウ	<i>Choroterpes alticolus</i>	B	2	βm									1		
18			ヒメシロカゲロウ	ヒメシロカゲロウ属の一種	<i>Caenis</i> sp.	B	2	βm			3			61			58		
19			マダラカゲロウ	エラブタマダラカゲロウ	<i>Torleya japonica</i>	B	2	βm			6			6			3		
20				アカマダラカゲロウ	<i>Uracanthella punctisetae</i>	B	2	βm			3						1		
21				コカゲロウ	ミツオミジカオフトバコカゲロウ	<i>Acentrella gnom</i>	A	1	Os			4			41				
22					サホコカゲロウ	<i>Baetis sahoensis</i>	B	3	αm			2			2				
23					フタモンコカゲロウ	<i>Baetis taiwanensis</i>	B	2	βm			3							
24					Fコカゲロウ	<i>Baetis</i> sp. F	A	1	Os			4			4				
25					Dコカゲロウ	<i>Nigrobaetis</i> sp. D	-	-	-						6		6		
26					ウデマガリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>	A	1	Os			43			53				
27					ヒラタカゲロウ	シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>	B	2	βm	○		7		1	○	1	○	
28			トンボ	カワトンボ	ハグトンボ	ハグトンボ	<i>Atrocalopteryx atrata</i>	B	2	βm						○			
29					サナエトンボ	オナガサナエ	<i>Meligomphus viridicostus</i>	B	2	βm	○	○				2			
30						アオサナエ	<i>Nihonogomphus viridis</i>	B	2	βm							○		
31					ホンサナエ	<i>Shaogomphus postocularis</i>	B	2	βm							○			
32					コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	B	2	βm			○				○			
33			エゾトンボ	コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	B	3	αm						○					
34		カワゲラ	カワゲラ	フタツマカワゲラ属の一種	<i>Neoperla</i> sp.	A	1	Os								1			
35		カメムシ	アメンボ	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	B	3	αm	○	○		○		○					
36		トビケラ	シマトビケラ	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>	B	2	βm	○		4			21	○	2			
37				ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>	A	1	Os	○					1					
38				クダトビケラ	クダトビケラ属の一種	<i>Psychomyia</i> sp.	B	2	βm	○					3		2		
39				ヒメトビケラ	ヒメトビケラ属の一種	<i>Hydroptila</i> sp.	B	2	βm				7		3		2		
40		ハエ	ユスリカ	ダングラヒメユスリカ属の一種	<i>Ablabesmyia</i> sp.	-	-	-			2			1		4			
41				ハダカユスリカ属の一種	<i>Cardiocladius</i> sp.	A	1	Os			1			1					
42				カマガタユスリカ属の一種	<i>Cryptochironomus</i> sp.	B	3	αm						1					
43				ホソミユスリカ属の一種	<i>Dicrotendipes</i> sp.	-	-	-			4			8		4			
44	サトクロユスリカ属の一種			<i>Einfeldia</i> sp.	B	3	αm						1						
45	テンマクエリユスリカ属の一種			<i>Eukiefferiella</i> sp.	A	1	Os			6			6						
46	コヒメユスリカ属の一種の一種			<i>Nilotanyus</i> sp.	A	1	Os			1									
47	コシアキヒメユスリカ属の一種			<i>Paramerina</i> sp.	-	-	-			1					6				
48	ハモンユスリカ属の一種			<i>Polypedilum</i> sp.	B	3	αm			9			11		13				
49	ナガレツヤユスリカ属の一種			<i>Rheocricotopus</i> sp.	B	2	βm								2				
50	ムナクボユスリカ属の一種			<i>Synorthocladius</i> sp.	-	-	-			1			2		1				
51	ヒゲユスリカ属の一種			<i>Tanytarsus</i> sp.	A	1	Os			73			17		47				
52	ヌカユスリカ属の一種			<i>Thienemanniella</i> sp.	A	1	Os			1			2						
53	エリユスリカ亜科の一種			<i>Orthoclaadiinae</i> gen. sp.	-	-	-			8			9		8				
54	モンユスリカ亜科の一種			<i>Tanypodinae</i> gen. sp.	-	-	-			4			7		3				
55	ユスリカ科の一種(蛹)			<i>Chironomidae</i> gen. sp. (pupa)	-	-	-			10			10		12				
56	コウチュウ	ゲンゴロウ	キバリマメゲンゴロウ	<i>Platambus fimbriatus</i>	-	-	-									○			
57			ガムシ	ガムシ科の一種	<i>Hydrophilidae</i> gen. sp.	B	-	-						1		1			
58			ヒメドロムシ	ツヤナガアシドロムシ	<i>Grouvellinus nitidus</i>	A	1	Os							1				
59				キスジミゾドロムシ	<i>Ordobrevia foveicollis</i>	A	1	Os							1				
60				ヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria brevis</i>	A	1	Os							1				
61				ヒメツヤドロムシ属の一種	<i>Zaitzeviaria</i> sp.	A	1	Os					8						
62			ヒラタドロムシ	クシヒゲマルヒラタドロムシ	<i>Eubianax granicollis</i>	B	2	βm	○		1								
63	ヒラタドロムシ	<i>Mataeopsephus japonicus</i>		B	2	βm	○		21				4		2				
							個体数	-	-	343	-	324	-	188	-				
							種類数	13	7	33	5	38	13	26	8				
							湿重量(g)	-	-	1.19	-	0.43	-	0.10	-				

注) 1. 種名および表中の網掛けは、「埼玉県レッドデータブック2008(動物編)」に記載されている種であることを示す。

注) 2. 種名および種順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(平成29年10月, 水情報国士データ管理センター)に準拠した。

注) 3. 水質階級は「森下郁子(1985) 指標生物学 生物モニタリングの考え方」に従った。

3.2.2 付着藻類

各調査地点での付着藻類調査結果の概要を表 3-3 に、出現種一覧を表 3-4 に、代表的な確認種の分布状況を図 3-2 に示す。

表 3-3 付着藻類調査結果の概要

項目 \ 地点名	St. 3 小畔川 吉田橋 付近	St. 4 入間川 初雁橋 付近	St. 5 入間川 菅間堰 付近
種数	49	47	59
延べ細胞数(細胞数/cm ²)	64,377,600	160,828,800	154,828,800
注目種	-	-	-

表 3-4 附着藻類調査結果一覧

調査期日：平成29年8月7日,9月5日

No	綱名	目名	科名	種名		耐 忍 性	汚 濁 指 数	水 質 階 級	調査地点名		
				和名	学名				St.3 小畔川 吉田橋付近	St.4 入間川 初雁橋付近	St.5 入間川 菅間堰付近
1	藍藻	クロオコックス	エントフィサリス	エントフィサリス	<i>Entophysalis</i> sp.	B	-	-	1,411,200	316,800	4,320,000
2		ネンジュモ	ヒゲモ	ピロウドランソウ	<i>Homoeothrix janthina</i> *	A	1	os~βms	5,308,800	43,200,000	16,416,000
3			ユレモ	ユレモ	<i>Oscillatoria</i> sp. *	B	-	-		480,000	
4				サヤユレモ	<i>Phormidium</i> spp. *	B	-	-		2,400,000	86,400
5		カマエシフォン	カマエシフォン	コンボウランソウ	<i>Chamaesiphon minutus</i>	A	1	os~βms	537,600	480,000	
6	珪藻	中心	タラシオシラ	ヒメマルケイソウ	<i>Cyclotella</i> sp.	B	-	-	1,545,600	384,000	518,400
7				トゲマルケイソウ	<i>Stephanodiscus</i> sp.	B	-	-	537,600		86,400
8			メロシラ	スジタルケイソウ	<i>Aulacoseira ambigua</i>	A	1	os~βms	268,800		
9				チャツツケイソウ	<i>Melosira varians</i>	A	1	os~βms	67,200	4,704,000	4,924,800
10				ジグザグオオメダマケイソウ	<i>Pleurosira laevis</i>	A	1	os	67,200		
11		羽状目	ディアトマ	イタケイソウ	<i>Diatoma vulgaris</i>	A	1	os~βms		96,000	
12				オビケイソウ	<i>Fragilaria rumpens</i>	B	2	βms		480,000	
13				オビジュウジケイソウ	<i>Staurisira construens</i>	A	1	os~βms		3,840,000	3,024,000
14				オニジュウジケイソウ	<i>Staurisirella pinnata</i>	A	1	os~βms	201,600	3,648,000	2,160,000
15				ハリケイソウ	<i>Ulnaria acus</i>	A	1	os~βms			345,600
16				ハリケイソウ	<i>Ulnaria pseudogailonii</i>	B	-	-	1,209,600	96,000	86,400
17				ハリケイソウ	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>oxvrvnchus</i>	B	2	βms	1,008,000	768,000	259,200
18				ハリケイソウ	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>ulna</i>	B	2	βms	1,209,600	96,000	691,200
19			ナピクラ	ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora montana</i>	B	2	βms	67,200	192,000	518,400
20				ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora pediculus</i>	B	2	βms	134,400		172,800
21				クチビルケイソウ	<i>Cymbella tumida</i>	A	1	os~βms	67,200	96,000	
22				クチビルケイソウ	<i>Cymbella turgidula</i> var. <i>nipponica</i>	A	1	os~βms		384,000	
23				クチビルケイソウ	<i>Cymbella turgidula</i> var. <i>turgidula</i>	A	1	os~βms	67,200	768,000	1,296,000
24				ハラミクチビルケイソウ	<i>Encyonema silesiacum</i>	A	1	os~βms		192,000	
25				クサビケイソウ	<i>Gomphonema heterominuta</i>	B	2	βms		96,000	172,800
26				クサビケイソウ	<i>Gomphonema angustum</i>	A	1	os	336,000		
27				クサビケイソウ	<i>Gomphonema lagenula</i>	B	-	-	134,400	96,000	691,200
28				クサビケイソウ	<i>Gomphonema parvulum</i>	B	4	βms~ps	873,600	768,000	1,123,200
29				クサビケイソウ	<i>Gomphonema pseudoaugur</i>	B	4	βms~ps	134,400		86,400
30				ニセマガネケイソウ	<i>Gyrosigma scalproides</i>	B	-	-			86,400
31				フネケイソウ	<i>Navicula amphiceropusis</i>	B	-	-		96,000	518,400
32				フネケイソウ	<i>Navicula bacillum</i>	A	1	os			172,800
33				フネケイソウ	<i>Navicula capitatoradiata</i>	B	3	βms~αms		96,000	518,400
34				フネケイソウ	<i>Navicula cari</i>	B	3	βms~αms			172,800
35				フネケイソウ	<i>Navicula confervacea</i>	B	2	βms	672,000		1,728,000
36				フネケイソウ	<i>Navicula cryptocephala</i>	B	3	βms~αms			172,800
37				フネケイソウ	<i>Navicula cryptotenella</i>	B	2	βms		96,000	1,296,000
38				フネケイソウ	<i>Navicula decussis</i>	A	1	os~βms			172,800
39				フネケイソウ	<i>Navicula goeppertiana</i>	B	3	βms~αms	67,200		172,800
40				フネケイソウ	<i>Navicula gregaria</i>	B	3	βms~αms	134,400	960,000	1,814,400
41				フネケイソウ	<i>Navicula nipponica</i>	B	2	βms		96,000	
42				フネケイソウ	<i>Navicula phyllipta</i>	B	-	-	134,400		
43				フネケイソウ	<i>Navicula rostellata</i>	A	1	os~βms	134,400	480,000	345,600
44				フネケイソウ	<i>Navicula saprophila</i>	B	3	βms~αms	1,008,000	4,320,000	6,480,000
45				フネケイソウ	<i>Navicula seminulum</i>	B	4	αms~ps	2,016,000	38,304,000	27,216,000
46				フネケイソウ	<i>Navicula subminuscula</i>		4	αms~ps	5,040,000	31,392,000	31,017,600
47				フネケイソウ	<i>Navicula substrostellata</i>	A	1	os~βms	268,800	1,440,000	2,160,000
48				フネケイソウ	<i>Navicula symmetrica</i>	B	2	βms	336,000	192,000	518,400
49				フネケイソウ	<i>Navicula trivialis</i>	A	1	os	67,200		
50				フネケイソウ	<i>Navicula veneta</i>	B	3	βms~αms	268,800	192,000	345,600
51				フネケイソウ	<i>Navicula ventralis</i>	B	2	βms		192,000	
52				フネケイソウ	<i>Navicula yuraensis</i>	A	1	os~βms	201,600		1,209,600
53				フネケイソウ	<i>Navicula</i> spp.	B	-	-		192,000	
54				ハネケイソウ	<i>Pinnularia gibba</i>	B	3	βms~αms			86,400
55				エリツキケイソウ	<i>Sellaphora pupula</i>	B	4	βms~ps	67,200		345,600
56			アクナンテス	ツメワカレケイソウ	<i>Achnanthydium delicatulum</i>	A	1	os~βms			86,400
57				ツメワカレケイソウ	<i>Achnanthydium exiguum</i>	B	2	βms	8,400,000		1,123,200
58				ツメワカレケイソウ	<i>Achnanthydium subhudsonis</i>	B	-	-		576,000	518,400
59				コバンケイソウ	<i>Cocconeis placentula</i> var.	A	1	os~βms	537,600	96,000	432,000
60				フトスジツメワカレケイソウ	<i>Planorhynchium lanceolatum</i>	A	1	os~βms	403,200		691,200
61			ニツシア	ササノハケイソウ	<i>Nitzschia acicularis</i>	B	2	βms			172,800
62				ササノハケイソウ	<i>Nitzschia amphibia</i>	B	4	βms~ps	873,600	3,936,000	4,233,600
63				ササノハケイソウ	<i>Nitzschia frustulum</i>	B	2	βms	2,620,800	960,000	2,246,400
64				ササノハケイソウ	<i>Nitzschia inconspicua</i>	B	2	βms	20,496,000	3,360,000	25,488,000
65				ササノハケイソウ	<i>Nitzschia levidensis</i>	B	3	αms	134,400		86,400
66				ササノハケイソウ	<i>Nitzschia palea</i>	B	4	βms~ps	3,292,800	5,088,000	2,160,000
67				ササノハケイソウ	<i>Nitzschia paleacea</i>	B	2	βms		192,000	172,800
68			スリレラ	オオパンケイソウ	<i>Surirella robusta</i>	B	2	βms			86,400
69				オオパンケイソウ	<i>Surirella tenera</i>	B	2	βms	67,200		86,400
70	緑藻	オオヒゲマワリ	クラミドモナス	クラミドモナス	<i>Chlamydomonas</i> sp.	B	-	-	134,400		172,800
71		クロコクックム	セネデスムス	イカダモ	<i>Scenedesmus</i> spp.	B	-	-	1,344,000	3,840,000	3,110,400
72		カエトフォラ	カエトフォラ	クロニオフォラ	<i>Cloniophora</i> sp.	B	-	-	201,600	960,000	
73				キヌミドロ	<i>Stigeoclonium</i> sp.	B	-	-			259,200
74		ホシミドロ	ホシミドロ	アオミドロ	<i>Spirogyra</i> sp.	B	-	-		67,200	
75			ツツミモ	ミカツキモ	<i>Closterium</i> sp.	B	-	-	134,400	96,000	86,400
76				ツツミモ	<i>Cosmarium</i> sp.	B	-	-	67,200	96,000	86,400
種類数									49	47	59
沈降量 (ml/75cm ² 全試料)									2.80	7.60	4.30
細胞数 (cell/s/全試料)									64,377,600	160,828,800	154,828,800

注) (*)印を付した種については、糸状体数を示す。

3.2.3 魚類

各調査地点での魚類調査結果の概要を表 3-5 に、出現種一覧を表 3-6 に、代表的な確認種の分布状況を図 3-3 に示す。

表 3-5 魚類調査結果の概要

地点名 項目	St.1 南小畔川 大町橋 付近	St.2 小畔川 田島橋 付近	St.3 小畔川 吉田橋 付近	St.4 入間川 初雁橋 付近	St.5 入間川 菅間堰 付近
種数	9	6	9	11	8
採捕個体数	63	52	105	77	86
注目種	コクチバス	コクチバス	コクチバス	オオクチバス コクチバス ウキゴリ	ブルーギル

表 3-6 魚類調査結果一覧

調査期日：平成29年8月7日、9月5日

番号	目名	科名	和名	学名	生活型	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	
						南小畔川 大町橋付近	小畔川 田島橋付近	小畔川 吉田橋付近	入間川 初雁橋付近	入間川 菅間堰付近	
1	コイ目	コイ科	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	淡			2			
2			ギンブナ	<i>Carassius</i> sp.	淡	7	2	4	1		
3			オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>	淡	36	6	54	53	46	
4			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>	淡	1	36	1			
5			アブラハヤ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	淡	1		1			
6			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	淡	6		27	1	5	
7			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	淡	3	5		3		
8			カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	淡	1	1	1	7	7	
9			ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	淡	5		5	1	5	
10			ドジョウ科	ヒガシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type C	淡				2	1
11	スズキ目	サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>	淡					4	
12			オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>	淡				1		
13			コクチバス	<i>Micropterus dolomieu dolomieu</i>	淡	3	2	10	2		
14		ハゼ科	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	回				1		
15			旧トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp. OR morphotype unidentified	回				5	17	
16			ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	回					1	
合計	2目	4科	16種			種類数	9	6	9	11	8
						個体数	63	52	105	77	86

- 注) 1. 生活型 回：両側回遊魚（海域と淡水域を往来する種） 淡：純淡水魚（一生を淡水域で過ごす種） 海：海産性魚（偶発的に淡水域に進出する）
 2. 表中の網掛けは「環境省レッドデータブック2017」及び「埼玉県レッドデータブック2008 動物編」に記載されている種であることを示す。
 3. 表中の赤字は、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律により、特定外来生物に指定されている種であることを示す。
 4. 種名・学名及び序列は、河川水辺の国勢調査の出現種リストに従った。また、生活型は「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」の表記に従った。